

馬車は廢せられ之に代ふるに自動車は廉價に購うことを得べく
また軍用にも自轉車及び自動車を以て馬に代ふることとなるべし
従つて馬なるものは僅かに好奇者によりて飼養せらるゝに至るべし

要約

馬車はなくなり代わって自動車は安く買えるようになる。軍用も自轉車と自動車が馬にとって代わる。その結果、馬は奇特定の人間がわずかに飼育するだけのものになる。

実現している

〈解説〉

馬車は見かけなくなり、自動車は一般大衆のものとなっています。

1886(明治19)年にベンツ及びダイムラーがガソリンエンジンを搭載した自動車を製作。1913(大正2)年にフォードがベルトコンベアによる大量生産を開始し普及していきました。

日本では1907年(明治40)年に国産初のガソリン車が完成。トヨタはAA型乗用車を1936年(昭和11)年4月より生産開始しました。

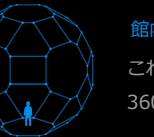
1964年(昭和39)年の東京オリンピック頃から、高速道路及び舗装道路の整備が進むにつれて、一般大衆にも購入可能な価格の大衆車が登場します。1966年(昭和41)年トヨタの代表的大衆車初代カローラが43万2千円、といっても当時の大卒初任給が約2万4千円で、現在の価格に換算すると約380万円で、やはり高価なものでした。現在のカローラは約150万円からあり、安く買えるようになっています。

軍用に馬に代わったのは、自転車や自動車ではなく戦車や軍用トラクターなどで、馬は競走馬や乗馬などで活躍しています。

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.